

AVerVision F17HD+

ユーザーマニュアル



お使いになるまえに～安全のために必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

本書に記載する記号について



警告

誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、または物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

表示の例



注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容(左図記号の場合は高温注意)が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止行為であることを告げるものです。図中やその周辺に具体的な禁止内容(左図記号の場合は分解禁止)が描かれています。



指示

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図のなかに具体的な指示内容(左図記号場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告



- 交流 100V 以外の電源では使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードに傷をつけたり、上に重いものをのせたり、強く引っ張ったりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 機器の内部に燃えやすいものや、金属などを入れしないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災のおそれがあります。万一、異物が入ったり、水がかけたり動作をしない場合は、すぐに使用を中止して、販売店または当社営業担当にご連絡ください。
- 電源コードを高温部に近づけないでください。コードの被覆が溶けて感電や火災のおそれがあります。



- 機械の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。

警告



- 使用中に本体から煙がでたり、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社営業担当にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。これを怠ると感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がついて感電や火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。これを怠ると感電の原因になります。



- 本機を直射日光の当たるところや、冷暖房器の近く、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になります。
- 本機を水、油、薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いておかないと火災の原因になります。
- 本機を移動させる場合は、本体台座部分を持ってください。台座部分を持たずに移動すると、事故や故障の原因になります。

お願い

- 変色や変形、故障の原因になりますので本機を科学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤で絶対にふかないでください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布で水分をふきとってください。水洗いは絶対にしないでください。
- 本機を落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

登録商標について

- Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iMac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- IBM PC、XGA、SVGA、VGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

米連邦通信委員会声明 (Class A)

FC 注意- 本装置は FCC 規則 Part15 に従う Class A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置の ON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外の ITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

警告- これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

CE Class A (EMC)

CE 本製品は電磁気両立性指令 2004/108/EC に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

警告- これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗示的かを問わず、いかなる保証または責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVer は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

商標

AVerVision は AVer Information Inc. 社の登録商標です。IBM PC は IBM 社の登録商標です。Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。Microsoft および Windows はそれぞれ Microsoft 社の登録商標および商標です。本書に記載されている他のすべての製品名または会社名は認証および説明目的のためだけで、各社の商標または登録商標となっている場合があります。

著作権

© 2014 by AVer Information Inc. 全権留保。本書の一部または全部をAVer Information Inc.社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルのために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

リモートコントロールのバッテリーの安全性に関する情報

- バッテリーは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みのバッテリーを家庭用廃棄物として廃棄しないでください。バッテリーは特別な集積場で廃棄するか、該当する場合には販売店に返却してください。
- 長期間使用しない場合には、バッテリーを取り外してください。バッテリーの液漏れや腐食により、リモートコントロールが損傷する場合があります。バッテリーは安全に廃棄してください。
- 古いバッテリーを新しいバッテリーと一緒に使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池(炭素亜鉛)、または充電式電池(ニッケルカドミウム)など、異なるタイプのバッテリーと一緒に使用しないでください。
- バッテリーを火の中に廃棄しないでください。
- バッテリーの端子を短絡させないようにしてください。

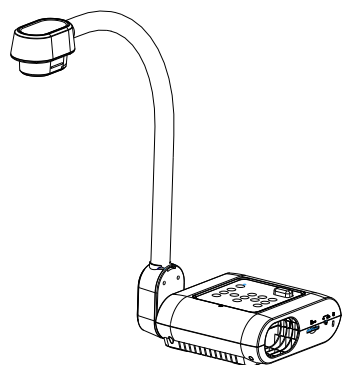
目次

| | |
|--|-----------|
| パッケージ内容..... | 1 |
| オプション..... | 1 |
| AVerVision F17HD+ 各部の紹介 | 2 |
| 右パネル..... | 3 |
| リアパネル..... | 3 |
| 左パネル..... | 4 |
| コントロールパネル..... | 4 |
| リモコン..... | 6 |
| 各部の接続 | 9 |
| TV-RGB スイッチの設定..... | 9 |
| モニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続..... | 9 |
| HDMI インターフェイスによるモニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続..... | 10 |
| テレビへの接続..... | 10 |
| 電源アダプタとの接続..... | 11 |
| コンピュータへの接続..... | 11 |
| USB によるコンピュータへの接続..... | 12 |
| HDMI 入力インターフェイスのあるコンピュータに接続..... | 12 |
| 顕微鏡への接続..... | 13 |
| 設定と準備 | 14 |
| 収納と取り扱い..... | 14 |
| 撮影エリア..... | 15 |
| カメラヘッド LED ライト..... | 16 |
| 赤外線センサー..... | 16 |
| F17HD+ を平らな面に固定..... | 17 |
| 反射防止シート..... | 17 |
| 外部メモリストレージ..... | 18 |
| SD カードの挿入..... | 18 |
| OSD メニュー..... | 19 |
| メニューとサブメニューのナビゲート..... | 20 |
| イメージ..... | 20 |
| 明るさ..... | 20 |
| コントラスト..... | 20 |
| モード..... | 21 |
| 画像効果..... | 21 |
| ミラー..... | 21 |
| アドバンス..... | 21 |
| 自動色調整..... | 22 |
| 露出..... | 22 |
| ホワイトバランス..... | 22 |

| | |
|-----------------------------|-----------|
| フォーカス..... | 22 |
| プレゼンテーション..... | 23 |
| スポットライト..... | 23 |
| マスク..... | 23 |
| PIP（ピクチャーインピクチャー）..... | 24 |
| 画面分割..... | 24 |
| タイマー..... | 25 |
| 設定..... | 25 |
| キャプチャー..... | 25 |
| 解像度..... | 25 |
| 画質..... | 25 |
| タイプ..... | 26 |
| 間隔..... | 26 |
| 保存先..... | 26 |
| フォーマット..... | 26 |
| USB から PC へ..... | 26 |
| 地域設定..... | 27 |
| システム..... | 27 |
| 言語..... | 27 |
| 出力表示..... | 27 |
| 保存..... | 27 |
| 設定内容保存..... | 28 |
| 設定内容読出..... | 28 |
| 情報..... | 28 |
| デフォルト（初期化）..... | 28 |
| 再生..... | 29 |
| スライドショー..... | 29 |
| 間隔..... | 29 |
| スライドショー効果..... | 29 |
| 使用中メモリ..... | 29 |
| 全て削除..... | 29 |
| 撮影された画像/ビデオのコンピュータへの転送..... | 30 |
| 主な仕様..... | 30 |
| 画像..... | 30 |
| 光学..... | 30 |
| 電源..... | 30 |
| 照明..... | 31 |
| 入力/出力..... | 31 |
| 寸法、重量..... | 31 |
| 外部ストレージ..... | 31 |
| トラブルシューティング..... | 32 |
| 保証について..... | 33 |

パッケージ内容

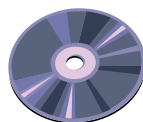
以下の品がパッケージに同梱されているかご確認ください。



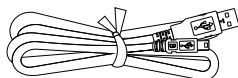
AVerVision F17HD+



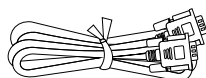
RCA 出力変換コネクタ



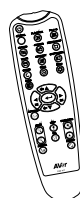
付属 CD-ROM



USB ケーブル

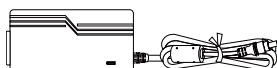


RGB ケーブル

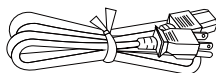


リモコン

(電池を含む)



電源アダプタ (12V、3A)



電源コード

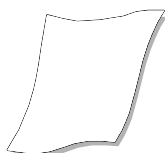


ユーザーマニュアル

オプション



キャリングバッグ



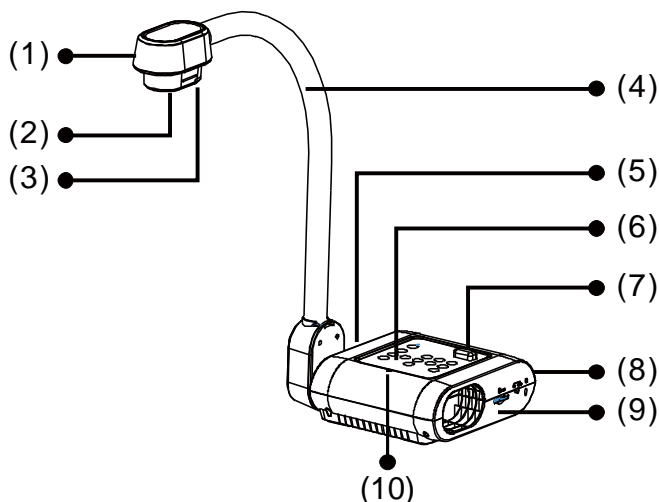
反射防止シート



顕微鏡用アダプタ

(28mm、34mm、ゴム製カプラ)

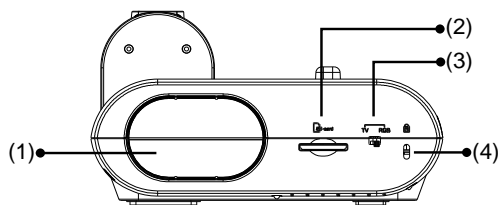
AVerVision F17HD+ 各部の紹介



(fig. 1.1)

| 機能 | 説明 |
|------------------------------|---|
| (1) カメラヘッド | カメラセンサーを内蔵しています。 |
| (2) カメラレンズ | カメラの像に焦点を合わせます。 |
| (3) LED ライト | 光を供給して照明条件を高めます。 |
| (4) フレキシブルアーム | 視界範囲を調整できます。 |
| (5) 左パネル | HDMI 出力/入力ポートに HDMI ケーブルを接続します。 |
| (6) コントロールパネル | さまざまな機能を簡単に操作できます。 |
| (7) 赤外線センサー | リモコンの信号を受信します。 |
| (8) リアパネル | 電源、コンピュータ、RGB/RCA の外部ディスプレイ装置、および PC への USB を接続します。 |
| (9) 右パネル | カメラヘッドホルダー、SD カード、TV-RGB ディスプレイ出力スイッチ、および盗難防止 Kensington セキュリティロックの互換性スロットに接続します。 |
| (10) Built-in MIC (内蔵マイク) | ビデオクリップを録画するときにはオーディオを録音します。録音されたオーディオはモノラルになります。 |

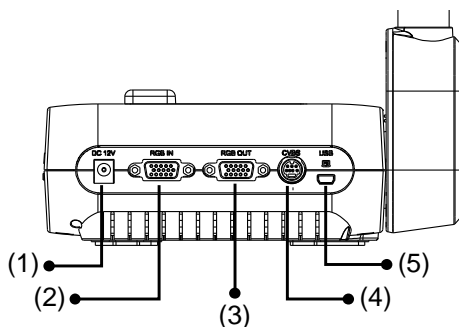
右パネル



(fig. 1.2)

| 機能 | 説明 |
|-------------------|---|
| (1) カメラホルダー | カメラヘッドをストレージに収納します。 |
| (2) SD カードスロット | SD カードをラベルを上向きにして挿入します。 |
| (3) TV/RGB 切替スイッチ | 使用する映像ケーブルに合わせ、TV/RGB スイッチを切り替えます。 RCA ケーブル使用⇒TV へ切り替えます。RGB ケーブル、HDMI ケーブル使用⇒RGB へ切り替えます。 |
| (4) 盗難防止スロット | Kensington 互換性セキュリティロックまたは盗難防止装置を取り付けます。 |

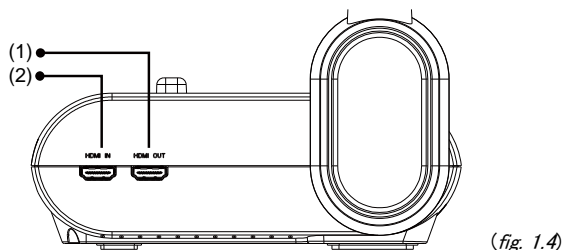
リアパネル



(fig. 1.3)

| 機能 | 説明 |
|-----------------|--|
| (1) DC12V | 電源アダプタと接続します。 |
| (2) RGB IN ポート | コンピュータまたは他のソースから信号を入力し、RGB OUT ポートだけに通過させます。コンピュータの RGB/VGA 出力ポートにこのポートを接続します。 |
| (3) RGB OUT ポート | AVerVision F17HD+ を RGB でディスプレイデバイスに接続します。 |
| (4) CVBS ポート | 付属の RCA 出力変換コネクタをこのポートに接続します。RCA ジャックは、カメラからの信号を TV またはビデオ機器に出力します。 |
| (5) ミニ USB ポート | USB ケーブルでコンピュータの USB ポートに接続し、USB カメラとして AVerVision F17HD+ を使用するか、または撮影した画像/ビデオをメモリソースからコンピュータに転送します。 |

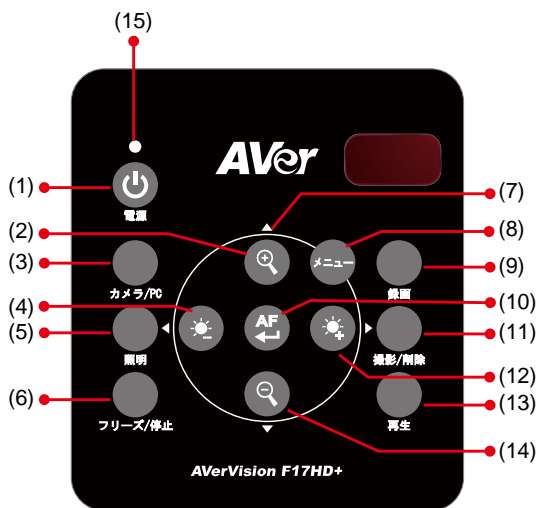
左パネル




(fig. 1.4)



| 機能 | 説明 |
|------------------|---|
| (1) HDMI OUT ポート | HDMI ケーブルを使用して HDMI インターフェイスを持つ LCD モニターまたは LCD/DLP プロジェクターのメイン システムからビデオ信号を出力。 |
| (2) HDMI IN ポート | このポートを介して外部 HDMI ソースを入力として接続 |

コントロールパネル



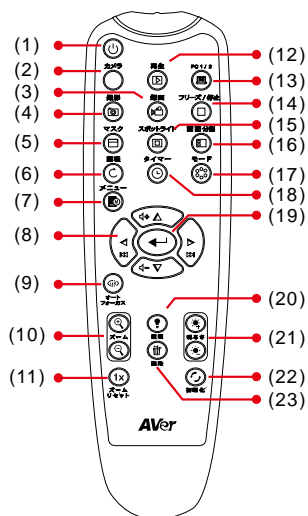
(fig. 1.5)

| 機能 | 説明 |
|---|--|
| (1) 電源 | 本体の電源を入れたり、スタンバイ状態にします。 |
| (2) ズームイン | カメラおよび写真の再生モードで画像の倍率を調整します。 |
| (3) カメラ / PC | RGB IN ポートや HDMI IN ポートからのビデオ信号をカメラとコンピュータの間で切り替えます。 |
| (4)  | 明るさの調整をします。 |
| (5) 照明 | カメラヘッド LED ライトをオン/オフにします。 |





| 機能 | 説明 |
|--|--|
| (6) フリーズ/停止 | <ul style="list-style-type: none"> - ライブ画像をフリーズします。 - ビデオの再生を停止します。 |
| (7) ▲, ▼ & ◀, ▶ | <ul style="list-style-type: none"> - ▲および▼を使用し、ビデオ再生音量を調整します。 - ◀および▶を使用し、ビデオを早送りしたり巻き戻したりします。 - Spotlight フレームおよび Visor 画面カバーを動かします。 |
| (8) メニュー | OSD メニューを開き、終了します。 |
| (9) 録画 | オーディオとビデオの録画を開始/停止します。オーディオとビデオの録画を保存できるのはSDカードだけです。 External Memory Storage を参照してください。 |
| (10)  | <ul style="list-style-type: none"> - AF: 焦点を自動的に調整します。 - 再生モードと OSD メニューで選択します。 - ビデオ再生を開始/一時停止します。 |
| (11) 撮影/削除 | <ul style="list-style-type: none"> - カメラモードで画像を撮影します。連続撮影モードで、このボタンをもう一度押して停止します。 - 選択された写真/ビデオを再生モードで削除します。 |
| (12)  | 明るさの調整をします。 |
| (13) 画像再生 | 撮影した静止画像とビデオファイルを表示、再生します。 |
| (14) ズームアウト | カメラおよび写真の再生モードで画像の倍率を調整します。 |
| (15) 電源 LED インジケータ | <ul style="list-style-type: none"> - レッド: スタンバイ - レッド点滅: 起動中 - グリーン: RGB/HDMI 出力中 - オレンジ: TV 出力中 |

リモコン

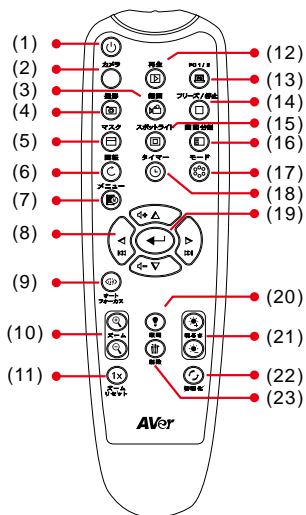
リモコンには「単 4」電池が 2 本必要です。ご使用になる前に、電池が正しく装着されているかを確認してください。リモコンで AVerVision F17HD+ の全機能にアクセスすることができます。



(fig. 1.6)

| 機能 | 説明 |
|----------------|---|
| (1) POWER (電源) | 本体の電源を入れたり、スタンバイ状態にします。 |
| (2) カメラ | カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。 |
| (3) 録画 | オーディオとビデオの録画を開始/停止します。オーディオとビデオの録画を保存できるのは SD カードのみです。 |
| (4) 撮影 | カメラモードで静止画像を撮影します。連続撮影モードで、このボタンをもう一度押して停止します。 |
| (5) マスク | <p>マスクサブメニューを呼び出します。マスクはプレゼンテーション画面の一部を覆って、プレゼンターは必要に応じて資料を表示することができます。</p> <p>マスクサブメニューでは以下のオプションを使用することができます。</p> <p>オン/オフ - マスクの実行/キャンセルを選択します。  を押して次の選択に移動します。</p> <p>シェード - 覆われたエリアの不透明度レベルを設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。</p> <p> を押して次の選択に移動します。</p> <p>OK -  を押すと設定が有効になります。ON を選択すると、プレゼンテーション画面の上部が少し露出します。▲、▼、◀、▶ ボタンを使用し、覆われているエリアをさらに表示します。オフを選択するとサブメニューが閉じます。</p> <p>マスクをオフにするには、 をもう一度押します。</p> |
| (6) 回転 | カメラモードおよび再生モードで画像を 90° 回転します。 |
| (7) メニュー | OSD メニューを開き、終了します。 |

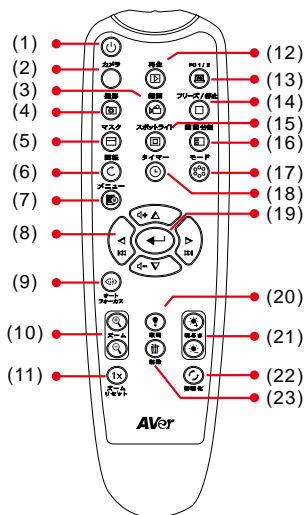




(fig. 1.6)




| 機能 | 説明 |
|-----------------|---|
| (8) ▲, ▼ & ◀, ▶ | <ul style="list-style-type: none"> - ライブモード、および再生モードの両方において、(デジタルズームレベル以上の)画像をパンおよびズームインします。 - OSDメニューでオプションを選択します。 - ▲および▼を使用し、ビデオ再生音量を調整します。 - ◀および▶を使用し、ビデオを早送りしたり巻き戻したりします。 - スポットライトフレームおよびマスク画面カバーを動かします。 |
| (9) オートフォーカス | <ul style="list-style-type: none"> - 焦点を自動的に調整します。 |
| (10) ズーム +/- | <ul style="list-style-type: none"> - カメラおよび写真の再生モードで画像の倍率を調整します。 - 16個のサムネイル画像のプレビューを簡単にナビゲートできます。 |
| (11) ズームリセット | <ul style="list-style-type: none"> - ズームレベルを100%にリセットします。 |
| (12) 再生 | <ul style="list-style-type: none"> - メモリに取り込んだ写真/ビデオを16個のサムネイル画像で表示します。 |
| (13) PC 1/2 | <ul style="list-style-type: none"> - PCモードは、アパーバージョン F17HD+のRGB入力端子からのビデオ信号を表示します。 |
| (14) フリーズ / 停止 | <ul style="list-style-type: none"> - ライブ画像をフリーズします。 - ビデオの再生を停止します。 |
| (15) スポットライト | <p>スポットライトサブメニューを呼び出します。スポットライトはプレゼンテーション画面にボックスをスポットライト表示します。ボックスのサイズを調節して移動させることができます。スポットライトサブメニューでは以下のオプションを使用できます。</p> <p>オン/オフ - スポットライトの実行/キャンセルを選択します。◀を押して次の選択に移動します。</p> <p>シェード - ボックス外側のエリアの不透明度レベルを設定します。シェードのかかったエリアでレベルを100に設定すると完全に黒くなります。◀を押して次の選択に移動します。</p> <p>カラー - スポットライトフレームの色を選択します。◀を押して次の選択に移動します。</p> |





(fig. 1.6)


| 機能 | 説明 |
|----|----|
|----|----|

| | |
|--------------|---|
| (15) スポットライト | <p>OK -  を押すと設定が有効になります。オンを選択すると、フレームが表示されて点滅します。▲、▼、◀、▶ ボタンを使用してフレームのサイズを調節し、 を押して必要なサイズに設定します。オフを選択するとサブメニューが閉じます。</p> <p>スポットライトをオフにするには、 をもう一度押します。</p> |
|--------------|---|

| | |
|-----------|---|
| (16) 画面分割 | <p>画面を 2 つに分割します。一方のディスプレイでは内蔵カメラからのライブ画像を表示し、もう一方のディスプレイでは 8 個のサムネイルサイズの写真/ビデオをメモリから表示します。</p> |
|-----------|---|

| | |
|----------|---|
| (17) モード | <p>以下の 4 つのタイプのモードを選択することができます。</p> <p>シャープ - 縁に沿ってコントラストを調節し、テキストを見やすくします。</p> <p>写真 - 画像の階調を調整します。</p> <p>モーション - フレームレートを高めます。このモードを使用するときには、十分な照明が必要です。</p> <p>顕微鏡 - 顕微鏡で表示するための最適なズームを自動調整します。</p> |
|----------|---|

| | |
|-----------|---|
| (18) タイマー | <p>タイマーサブメニューを呼び出します。タイマーのカウントダウンの開始/一時停止/停止を選択し、タイマーの持続時間を設定します。</p> |
|-----------|---|

| | |
|--|--|
| (19)  | <ul style="list-style-type: none"> - 再生モードおよび OSD メニューで選択します。 - ビデオの再生を開始/一時停止します。 |
|--|--|

| | |
|---------|---------------------------|
| (20) 照明 | カメラヘッド LED ライトをオン/オフにします。 |
|---------|---------------------------|

| | |
|-------------|-------------|
| (21) 明るさ+/- | 明るさの調整をします。 |
|-------------|-------------|

| | |
|----------|------------------|
| (22) 初期化 | 工場出荷時設定にリセットします。 |
|----------|------------------|


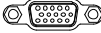




| | |
|---------|--------------------------|
| (23) 削除 | 選択された写真/ビデオを再生モードで削除します。 |
|---------|--------------------------|

各部の接続

すべてのデバイスの電源を必ず切ってから、接続を行ってください。どこに接続すべきかはっきりしない場合には、下図に示す接続方法に従い、さらに AVerVision F17HD+ を接続するデバイスのユーザーマニュアルも参照してください。

TV-RGB スwitchの設定

TV-RGB スwitchにより、ディスプレイ出力を選択することができます。RGB(右側)に切り替えて RGB/HDMI 接続を使用して信号を出力するか、TV(左側)に切り替えて RCA 接続を使用して信号を出力します。(see fig. 1.2 # 3)

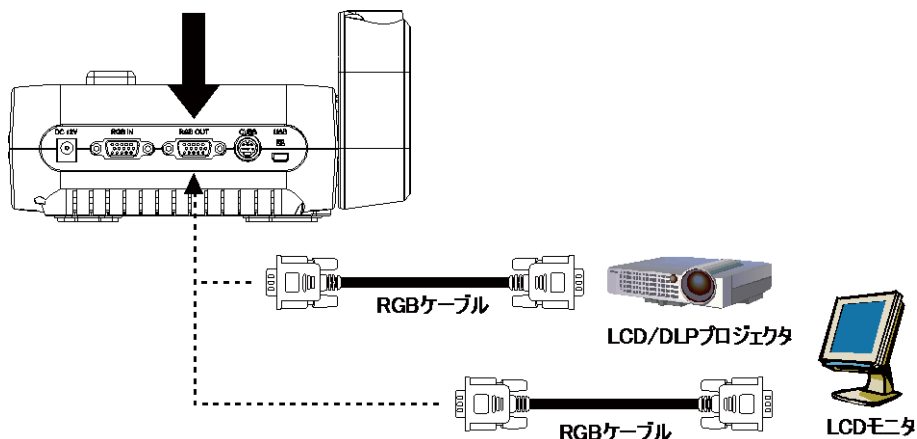
| スイッチ | AVerVision ポート | | ディスプレイ デバイス ポート |
|------|--|-------------|--|
| RGB |  RGB 出力端子 | 接 続 先 |  RGB 入力端子 |
| |  HDMI 出力端子 | |  HDMI 入力端子 |
| TV |  CVBS (RCA 出力変換コネクタを使用) | |  RCA 入力端子 |

モニターまたはLCD/DLP プロジェクターへの接続

グラフィックスディスプレイ機器の RGB (VGA)入力ポートを AVerVision F17HD+ の RGB OUT ポートに接続します。



この時、TV/RGB 切替スイッチを RGB に設定することをご確認ください。

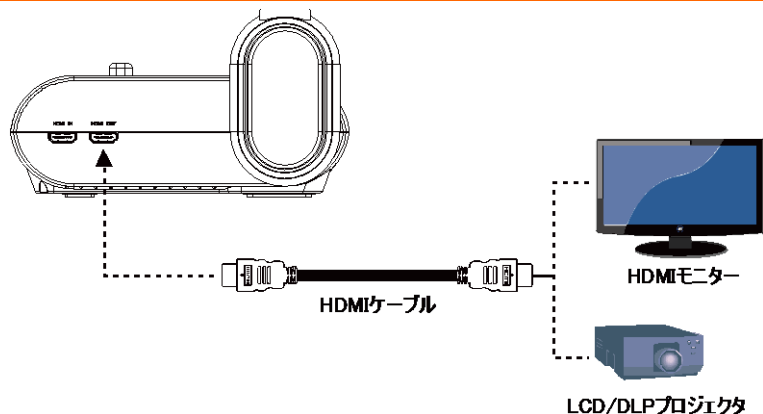


HDMIインターフェースによるモニターまたはLCD/DLPプロジェクターへの接続

ディスプレイ機器の HDMI 入力ポートをアバービジョン F17HD+ の HDMI OUT ポートに接続します。

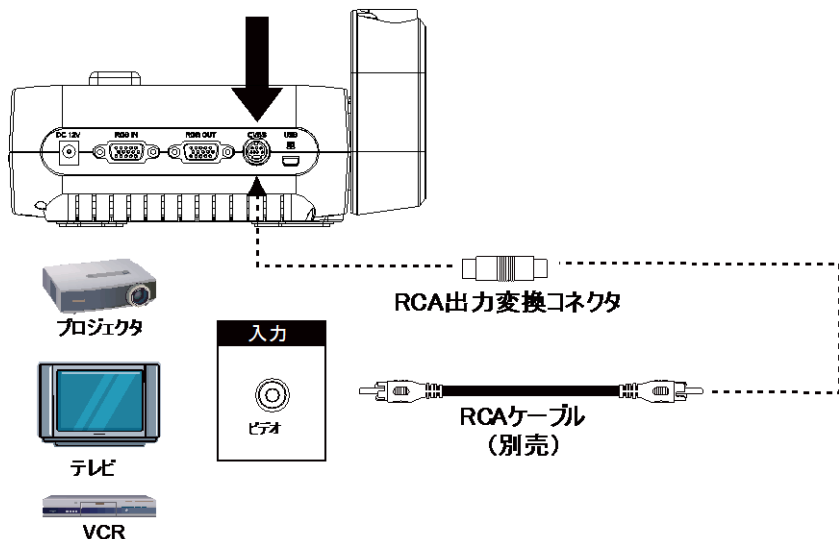


この時、TV/RGB 切替スイッチを RGB に設定することをご確認ください。



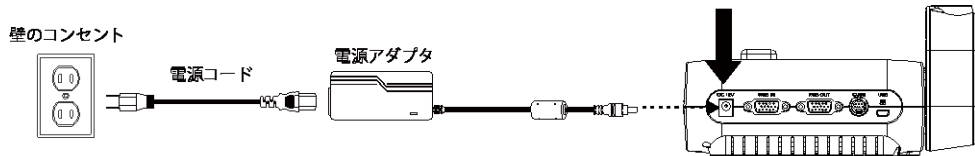
テレビへの接続

テレビまたはプレゼンテーションを録画するビデオ装置(VCR)の VIDEO または SCART RGB(該当する場合)入力ポートを見つけ、RCA 出力変換コネクタ、RCA ケーブルを使用して CVBS ポートに接続します。



電源アダプタとの接続

電源アダプタを標準的な 100V \sim 240V AC 電源コンセントに接続します。電源を接続すると、ユニットは自動的にスタンバイモードになります。⏻ を押して電源を入れます。

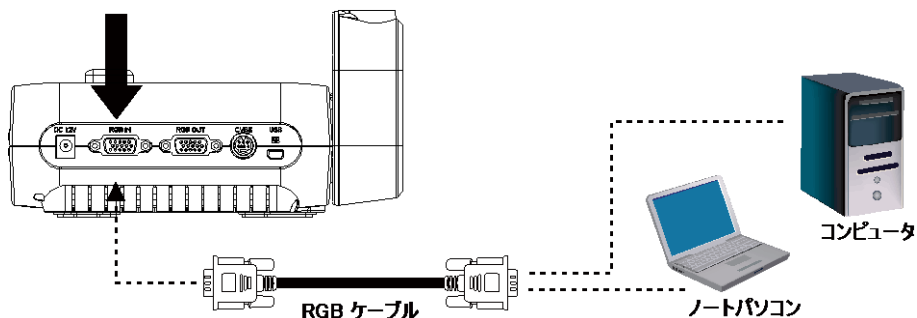


コンピュータへの接続

コンピュータまたはノートパソコンの RGB (VGA) 出力を AVerVision F17HD+ の RGB IN ポートに接続します。RGB IN ポートからのビデオ信号は RGB OUT ポートに送信されます。

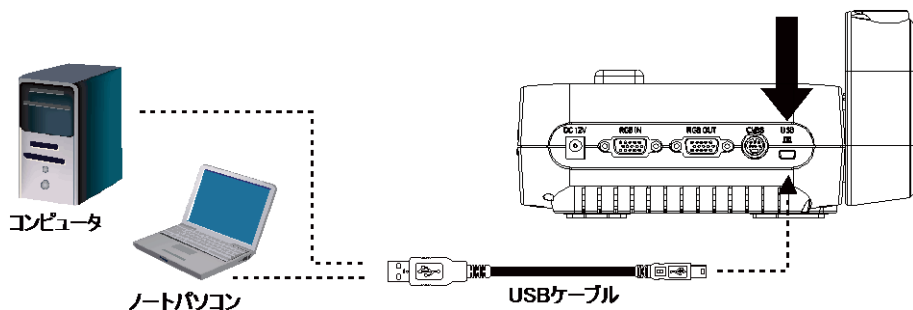


- コンピュータで画像を表示するには、コントロールパネルまたはリモコンでカメラ/PC ボタンを押し、AVerVision F17HD+ をコンピュータモードに切り替えます。
- ノートパソコンで表示画像を出力する場合、キーボード・コマンド(FN+F5)を用い、表示モードの間で切り替えます。異なるコマンドについては、お使いのノートパソコンのマニュアルを参照してください。



USB によるコンピュータへの接続

コンピュータまたはノートパソコンの USB ポートを AVerVision F17HD+ のミニ USB ポートに接続します。

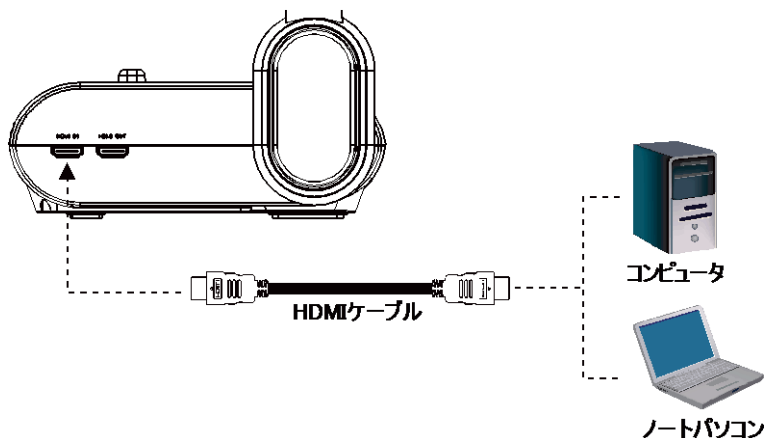


HDMI 入インターフェイスのあるコンピュータに接続

コンピュータまたはノートパソコンの HDMI 出力ポートを AVerVision F17HD+ の HDMI 入力ポートに接続します。





- TV/RGB スイッチが RGB に設定されていることを確認してください。
- コンピュータ画像を表示するには、コントロールパネルまたはリモコンでカメラ/PC ボタンを押し、AVerVision F17HD+ をコンピュータモードに切り替えます。
- ノートパソコンで表示画像を出力する場合、キーボード・コマンド(FN+F5)を用い、表示モードの間で切り替えます。異なるコマンドについては、お使いのノートパソコンのマニュアルを参照してください。



顕微鏡への接続

AVerVision F17HD+ に顕微鏡を接続すると、目をこらさなくても、微細な対象物を拡大表示できます。

1. 画像表示モードを顕微鏡に変更します。メニューを押して、イメージタブ > モード >  (顕微鏡) を選択し、 を押します。




2. カメラヘッドを最端に向けて、オートフォーカスを押します。



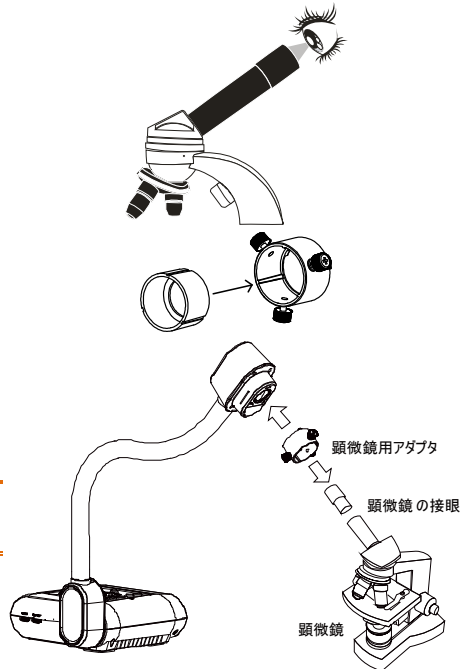
3. 顕微鏡の焦点を調節します。

4. 顕微鏡の接眼部に合うゴム製カプラを選択し、顕微鏡用アダプタに挿入します。

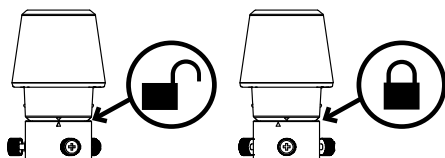
5. 顕微鏡から接眼部を取り外し、挿入されたゴム製カプラで顕微鏡用アダプタに接続します。アダプタが接眼部に固定されるまでボルト3本を締め付けます。

 接眼レンズには、15.5mm 以上のアイリリーフを使うことをお勧めします。

6. 顕微鏡用アダプタを AVerVision のカメラヘッドに取り付けます。その後、顕微鏡に接続します。



カメラヘッドと顕微鏡用アダプタの矢印が同じ位置になるように合わせてから、矢印を時計方向にひねってロックします。

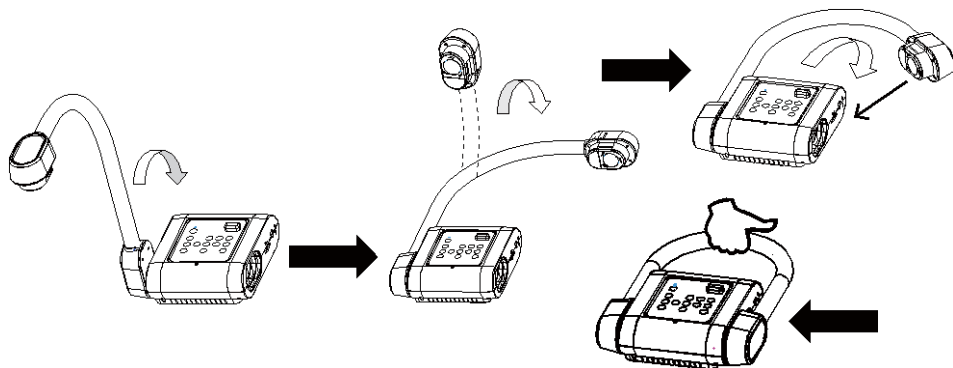


設定と準備

このセクションでは、使用条件に合わせて AVerVision F17HD+を調整する方法について説明します。

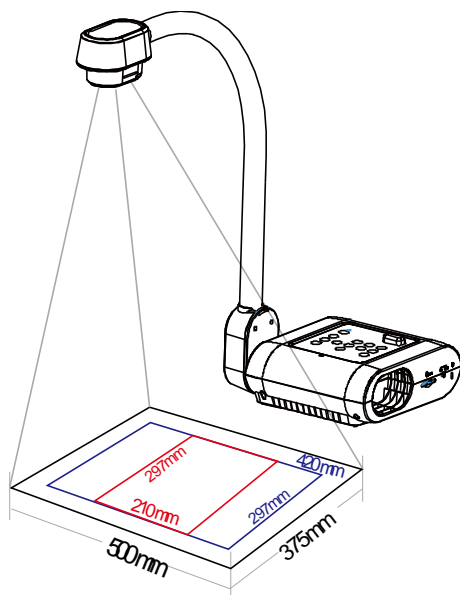
収納と取り扱い

フレキシブルアーム設計により、アームを自由に曲げてカメラヘッドをカメラホルダーに収納することができます。カメラヘッドをカメラホルダーに正しく固定すれば、アームとして使用して AVerVision F17HD+ を持ち運ぶことができます。

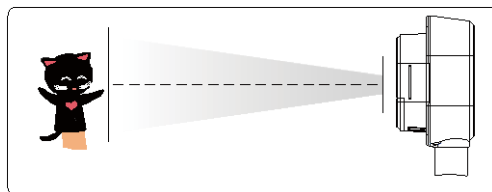



撮影エリア

撮影エリアでは 500x375mm の範囲を映すことができます。これは A4 サイズ縦・横、A3 サイズ横方向の用紙に相当します。



カメラヘッドが直立した状態の場合、リモコンの回転ボタンを 2 回押して画像を 180° 回転させます。

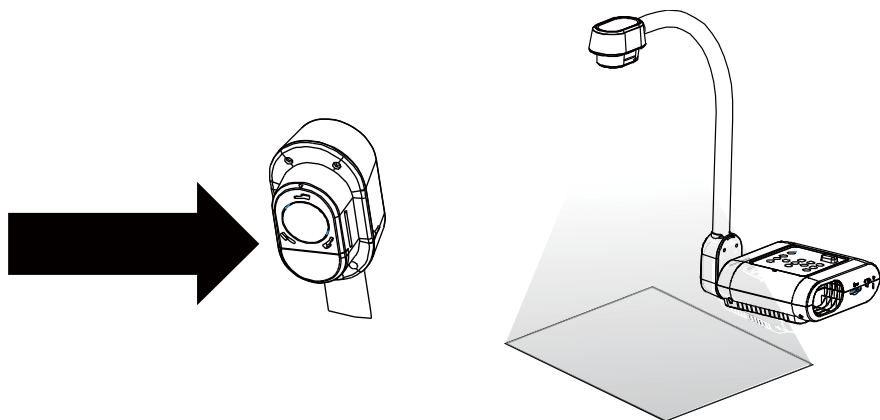


画像を反転するには、メニュー > ミラー を選択し、 を押してオンを選択します。



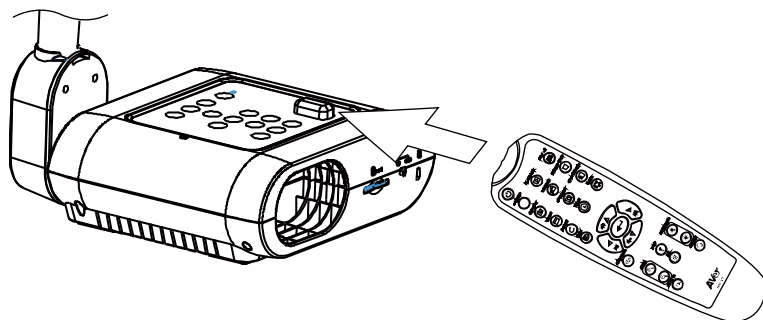
カメラヘッドLEDライト

コントロールパネルまたはリモコンで照明ボタンを押し、ライトを点灯するか、消します。



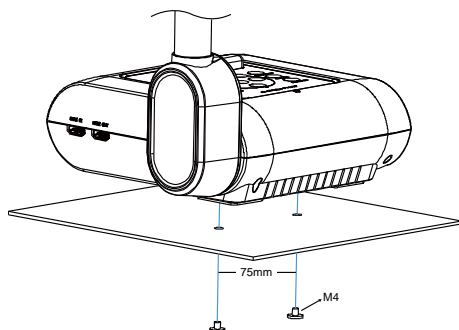
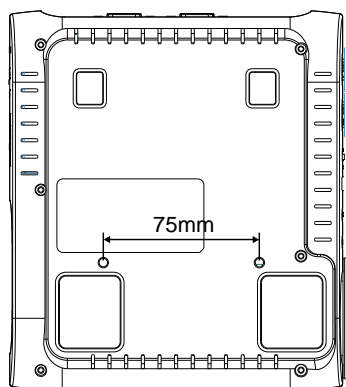
赤外線センサー

リモコンは赤外線センサーに向けて操作してください。



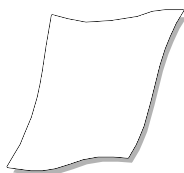
F17HD+ を平らな面に固定

下図に示すように、平らな面の穴と穴の中心の距離が 75 mm になるように測ってマークします。6.0 mm 穴用の M4.0 ねじを 2 つ使用して、F17HD+ を平らな面に固定します。



反射防止シート

反射防止シートは特殊コーティングされたシートです。このシートで、雑誌や写真など、光沢のある対象物や表面を表示する場合の反射を防止します。光沢のある書類の上に反射防止シートを乗せるだけで、反射を防止することができます。



外部メモリストレージ

AVerVision F17HD+ は SD メモリカードをサポートしており、より大容量の画像撮影やオーディオとビデオの録音・録画が可能です。AVerVision F17HD+ は外部ストレージメディアの場所を検出し、前回検出されたストレージに自動的に切り替えます。外部ストレージが接続されていない場合、撮影された静止画像はすべて内蔵メモリに保存されます。

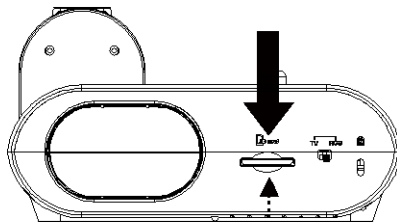
SD カードの挿入

接触部を下向きにしてカードを奥まで挿入します。カードを取り外すには、カードを押してイジェクトし、引き出します。サポートされた SD カードの容量は 1GB～32GB です(FAT32)。

高画質の録画をするには、クラス 6 以上の SDHC カードの使用を推奨します。



セキュアデジタル (SD)



OSD メニュー

OSD メニューには、イメージ、プレゼンテーション、設定、およびシステムの 4 つのタブがあります。再生モードではプレイバック OSD メニューを利用し、スライドショー機能を有効にして、必要に応じてスライドショーの時間間隔と移行設定を変更することができます。



テレビ出力では、設定メニューリストで解像度の選択肢は無効にされます。



イメージ



プレゼンテーション



設定



システム



再生

メニューとサブメニューのナビゲート



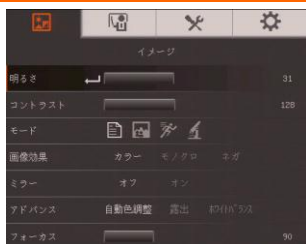
1. リモコンまたはコントロールパネルでメニューボタンを押します。
2. ▶と◀を押してタブを切り替えます。
3. ▼と▲を押してメニューリストでオプションを選択します。
4. ◀を押して選択します。
5. ▶と◀を使用して設定を調整するか、選択します。
6. ◀を押してサブメニューに入ります。
7. メニューを押して OSD メニューを閉じます。



イメージ

メニュー画面

説明



明るさ

0～63 の値で輝度レベルを手動で調整します。



コントラスト

明るい環境や暗い環境では、コントラストレベルを 0 ～255 の値に手動で調整します。

メニュー画面

説明



モード

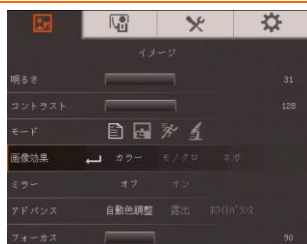
さまざまな画像表示設定から選択します。

シャープ - 縁に沿ってコントラストを調節し、テキストを見やすくします。

写真 - 画像の階調を調整します。

モーション - フレームレートを高めます。このモードを使用するときには、十分な照明が必要です。

顕微鏡 - 顕微鏡で表示するための最適なズームを自動調整します。



画像効果

画像をカラー(24ビットカラー)、モノクロ(黒と白)、またはネガに転換します。



ミラー

カメラモードで画像の反転を選択します。



アドバンス

自動色調整、露出、ホワイトバランスを設定します。

メニュー画面

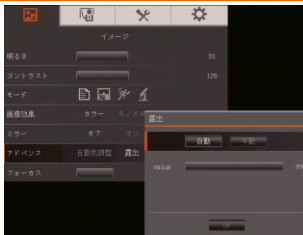
説明



自動色調整

オンまたはオフを選択し、ホワイトバランスと露出の設定を自動的に調節し、色と露出補正を修正します。

さらに、カメラの焦点調整で光が十分でない場合に、自動的にライトが点灯するように設定します。

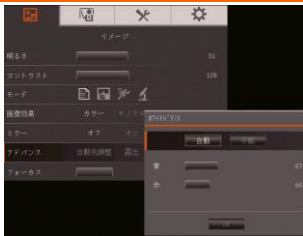


露出

露出設定を選択します。

自動 - カメラ露出と必要な光量を自動的に調整します。

手動 - 露出レベルを手動で調整します。露出は最高 100 まで調整することができます。



ホワイトバランス

さまざまな照明条件または色温度に応じてホワイトバランス設定を選択します。

自動 - ホワイトバランスを自動的に調整します。

手動 - 赤と青のカラーレベルを手動で調整します。カラーレベルは最高 255 まで調整することができます。



フォーカス

焦点を手動で調整します。

プレゼンテーション

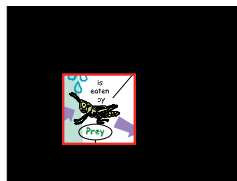
メニュー画面

説明



スポットライト

スポットライトはプレゼンテーション画面にフレームをスポットライト表示します。プレゼンテーション画面で▲、▼、◀、▶ ボタンを使用し、スポットライトを移動することができます。実行を選択してスポットライトサブメニューを呼び出します。



スポットライトサブメニューでは以下のオプションを使用することができます。



オン/オフ - スポットライトの実行/キャンセルを選択します。⬅️ を押して次の選択に移動します。

シェード - ボックス外側のエリアの不透明度レベルを設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。⬅️ を押して次の選択に移動します。

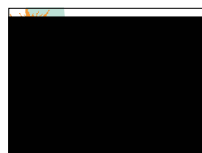
カラー - スポットライトフレームの色を選択します。⬅️ を押して次の選択に移動します。

OK - ⬅️ を押すと設定が有効になります。オンを選択すると、フレームが表示されて点滅します。▲、▼、◀、▶ ボタンを使用してフレームのサイズを調節し、⬅️ を押して必要なサイズに設定します。オフを選択するとサブメニューが閉じます。



マスク

マスクはプレゼンテーション画面を覆います。プレゼンテーション画面の上部が少し露出します。▲、▼、◀、▶ ボタンを使用し、覆われたエリアをさらに表示します。実行を選択してマスクサブメニューを呼び出します。



メニュー画面

説明



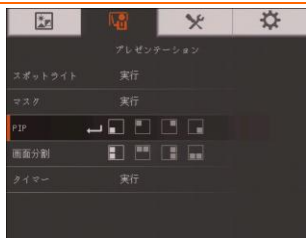
マスクサブメニューでは以下のオプションを使用することができます。



オン/オフ - マスクの実行/キャンセルを選択します。← を押して次の選択に移動します。

シェード - 覆われたエリアの不透明度レベルを設定します。シェードのかかったエリアでレベルを 100 に設定すると完全に黒くなります。← を押して次の選択に移動します。

OK - ← を押すと設定が有効になります。オンを選択すると、プレゼンテーション画面の上部が少し露出します。▲、▼、◀、▶ ボタンを使用し、覆われているエリアをさらに表示します。オフを選択するとサブメニューが閉じます。



PIP (ピクチャーインピクチャー)

サムネイル再生画面の場所を選択し、画面の隅でサムネイル再生画面を表示し、カメラモードで撮影された画像をメモリから読み込みます。オフを選択して PIP をキャンセルします。

- 左下
- 左上
- 右上
- 右下



画面分割

画面を 2 つの部分に分割します。画面の半分には 8 個のサムネイル画像が表示され、残りの半分には AVerVision F17HD+ カメラからの画像が表示されます。

8個のサムネイル再生画像の表示場所を選択します。オフを選択して画面分割をキャンセルします。

- 左
- 上
- 右
- 下

メニュー画面

説明



タイマー

タイマーを開始/一時停止/停止し、タイマーの持続時間を設定します。カウントダウンがゼロに達するとタイマーは自動的にカウントアップし、経過時間を示します。再生モード、PCモード、またはカメラモードの間で切り替える際にも、タイマーは計時を続けます。

設定

メニュー画面

説明



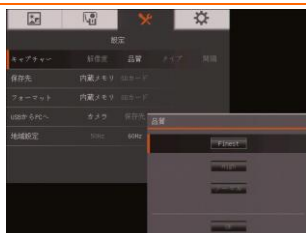
キャプチャー

撮影の解像度、画質、タイプ、間隔を設定します。



解像度

撮影サイズを選択します。5M設定では、撮影解像度のサイズは2560 X 1920です。



画質

撮影圧縮設定を選択します。

メニュー画面

説明



タイプ

撮影タイプを選択します。

シングル - 写真 1 枚のみを撮影します。

連続 - 連続写真を撮影します。



間隔

連続撮影の時間間隔を設定します。長さは最高 600 秒(10 分)です。



保存先

保存先を変更します。オーディオおよびビデオの録音・録画を保存できるのは SD カードのみです。



フォーマット

フォーマットして、選択されたメモリのデータをすべて削除します。



USBからPCへ

カメラ - コンピュータのウェブカメラとして使用したり、付属のソフトウェアと併用してビデオを録画し、静止画像を撮影できます。

保存先 - 撮影された写真/ビデオをメモリからコンピュータのハードディスクに転送します。

メニュー画面

説明



地域設定

50Hz または 60Hz を選択します。一部のディスプレイデバイスでは高い垂直走査周波数に対応できません。その場合、出力が別の垂直走査周波数に切り替わると、画像が何回かちらつきます。

システム

メニュー画面

説明



言語

さまざまな言語に変更したり、選択します。



出力表示

画像を画面に表示する解像度を設定します。この選択は TV 出力モードでは無効になります。



保存

内蔵メモリから SD カードに画像を保存します。

メニュー画面

説明



設定内容保存

選択されたユーザー番号に現在の設定を保存します。保存できるのは、効果、モード、明るさ、コントラストの設定のみです。



設定内容読出

選択したユーザー番号の設定を読み出します。



情報

製品情報を表示します。



デフォルト(初期化)

工場出荷時設定にすべての設定を戻します。

再生

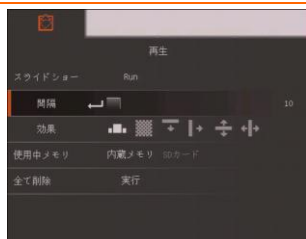
メニュー画面

説明



スライドショー

撮影された静止画像をすべて自動スライドショーで表示します。ビデオファイルはスキップされます。



間隔

写真を表示する時間間隔を設定します。時間間隔は最高 100 秒まで設定することができます。



スライドショー効果

スライドショーの移行効果を選択します。



画像をスライド



チェッカーダウン



下方向にワイブ



右方向にワイブ



分割して垂直に消去



分割して水平方向に消去



使用中メモリ

画像のメモリ種類を選択します。



全て削除

選択されたメモリソースのデータをすべて完全に削除します。警告メッセージが表示されます。はいを選択して続行するか、いいえを選択してストレージのフォーマットを停止します。

撮影された画像/ビデオのコンピュータへの転送

これにより、撮影された画像を内蔵メモリまたは SD カードからコンピュータへ転送します。



USB ケーブルを接続する前に、以下の指示に**必ず**従ってください。

1. USB ケーブルに接続する前に USB から PC で、保存先を選択する**必要があります**。
2. プレゼンテーション画面の右下隅に「**大容量ストレージが開始します (チェックの必要あり)...**」が表示されたら、USB ケーブルを接続します。
3. USB ケーブルを接続する際に、システムは新しい取り外し可能ディスクを自動的に検出します。F17HD+内蔵メモリからコンピュータのハードディスクに撮影した画像を転送することができます。



主な仕様

画像

| | |
|-------------|---|
| センサー | 1/4" CMOS |
| 画素数 | 500 万画素 |
| フレームレート | 最大 30 フレームレート |
| ホワイトバランス | 手動/自動 |
| 露出 | 手動/自動 |
| 画像モード | シャープ / 写真 / モーション / 顕微鏡 |
| 効果 | カラー/白黒/ネガ/ミラー |
| アナログ RGB 出力 | 1920x1080, 1600x1200, 1280x1024, 1280x720, 1024x768, 1280 x 800 |
| HDMI 出力 | HD 1080p 60Hz , HD 720P 60Hz |
| TV ライン | 1000(最大) |
| 画像キャプチャ | 240 枚まで(XGA) ; 80 枚まで(5M Pixel) |

光学

| | |
|------|---------------------------------------|
| 焦点方式 | 手動/自動 |
| 撮影範囲 | 500mm x 375mm |
| ズーム | 最大 32 倍(デジタルズーム 16 倍 × AVerZoom 2 倍) |

電源

| | |
|------|----------------------------------|
| 電源 | DC: 12V/3A; AC: 100-200V,50-60Hz |
| 消費電力 | 12 W (ランプ消灯時); 12.8 W (ランプ点灯時) |

照明

| | |
|--------|---------|
| ランプの種類 | LED ライト |
|--------|---------|

入力/出力

| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| RGB 入力 | 15 ピン D-sub (VGA) |
| RGB 出力 | 15 ピン D-sub (VGA) |
| HDMI 出力 | HDMI |
| HDMI 入力 | HDMI |
| コンポジット出力 (CVBS) | ミニ DIN ジャック (RCA 出力変換コネクタを使用してください。) |
| USB ポート | USB 2.0 (Mini-B タイプ) |
| DC 12V 入力端子 | 電源ジャック |
| マイク | 内蔵マイク |

寸法、重量

| | |
|------|--|
| 使用時 | 380mm x 200mm x 525mm (ゴム製脚部も含めて +/-2mm) |
| 収納時 | 305mm x 230mm x 73mm (ゴム製脚部も含めて +/-2mm) |
| 本体重量 | 約 2.44 kg |

外部ストレージ

| | |
|-----------------|--------------------|
| セキュアデジタル (SDHC) | 1GB ~ 32GB (FAT32) |
|-----------------|--------------------|

トラブルシューティング

このセクションでは、AVerVision F17HD+ の使用時に発生するかもしれない一般的な問題の解決方法について説明します。

プレゼンテーション画面に画像が表示されません。

1. 本書に表示されているようにすべてのコネクタが正しく接続されているかどうかを確認します。
2. ディスプレイ出力装置のオン/オフスイッチを確認します。
3. ディスプレイ出力装置の設定を確認します。
4. ノートパソコンまたはコンピュータから表示出力装置を用いてプレゼンテーションを行う場合、コンピュータの RGB(VGA)出力から AVerVision F17HD+ の RGB 入力へのケーブル接続を確認し、AVerVision F17HD+ が PC モードにあることを確実にします。

AVerVision F17HD+ の設定を完了し、すべての接続がマニュアルに指定されている通りになっていることを確認しましたが、希望のプレゼンテーション画面で画像を表示することができません。

1. 装置に電源を投入すると、スタンバイモードになります。電源ボタンを押して電源を入れます。
2. ディスプレイ出力デバイスがテレビまたはその他のアナログデバイス上にある場合は、テレビ/RGB ディップスイッチをテレビに切り替えます。

プレゼンテーション画面に歪んだ画像や不鮮明な画像が表示されます。

1. 可能であれば、変更した設定をすべて元の工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。メニューを押してから、OSD メニューのシステム > デフォルトで はい を選択します。
2. 可能な場合は、明るさまたはコントラストメニュー機能を使って歪みを修正します。
3. 不鮮明な画像や焦点が合っていない画像が表示された場合は、コントロールパネルの Auto Focus (自動焦点) ボタンを押してください。

プレゼンテーション画面にコンピュータ信号が表示されません。

1. ディスプレイ装置、AVerVision F17HD+、コンピュータ間のすべてのケーブル接続を確認します。
2. コンピュータと AVerVision F17HD+ を接続してから、コンピュータの電源を入れます。
3. ノートパソコンについては、FN+F5 を繰り返し押して、表示モードを切り替え、コンピュータ画像をプレゼンテーション画面に表示します。異なるコマンドについては、お使いのノートパソコンのマニュアルを参照してください。

カメラモードから PC モードに切り替えると、プレゼンテーション画面に PC やノートパソコンのデスクトップ画像が正しく表示されません。

1. PC またはノートパソコンのデスクトップに戻って、デスクトップ上でマウスを右クリックし、「プロパティ」を選択してから、「設定」タブを選択します。「2」のモニタをクリックして「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のボックスをオンにします。
2. その後、もう一度 PC またはノートパソコンに戻り、デスクトップ上でマウスを再び右クリックします。
3. このとき、「グラフィックオプション」、「出力先」、「Intel® Dual Display Clone」の順に選択してから、「モニタ + ノートパソコン」を選択します。
4. これらの手順に従うと、PC またはノートパソコン、さらにプレゼンテーション画面でも同じデスクトップ画像が表示できるはずです。

保証について

該当する製品の購入日から「Warranty Period of AVer Product Purchased (購入された AVer 製品の保証期間)」セクションに定める期間、AVer Information Inc. (「AVer」)は、該当する製品(「製品」)が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上がりの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済および AVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または (b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリー、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a) 事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、(b) 製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、(c) 出荷による損傷(そうした賠償は運送業者に請求しなければならない)、または (d) 製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a) 本来の保証期間、または (b) 修理または交換した製品の出荷日から30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電気的、電磁氣的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii) AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または (iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗示的か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法理的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVer の責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。



保証期間については、保証書を参照してください。